

学校法人奈良学園セミナーハウス志賀直哉旧居  
奈良文化女子短期大学同窓会  
奈良学園大学奈良文化女子短期大学部茶道部 共催

# とし みつ づき 年満月の茶会

志賀直哉旧居には、数奇屋風の天井で各区画の造りが異なる  
とても優美で趣がある茶室があります。  
珠光によって育まれた茶の湯は、奈良に息づく文化の一つです。  
茶の湯をとおして一年が満ちていく師走。  
満ち足りた思いで過ごせますように、ゆっくりと流れる時間を  
お楽しみください。

【日時】平成二十七年十二月六日(日)

午前十一時～午後三時

【場所】学校法人奈良学園セミナーハウス  
志賀直哉旧居

奈良市高畑町一二三七―二

【会費】呈茶券五〇〇円(完売になり次第終了します。)

別途入館料三五〇円を申し受けます。

【問合せ・申込先】志賀直哉旧居 電話〇七四二―二六―六四九〇



私は茶道の事をいふ資格のないものであるが、二十何年の昔、奈良の上高畑といふ所に家を建てる時、大工が裏千家関係の数寄屋大工で、建物の何所かに茶席を造りたいといふので、私は書斎の裏の中庭に面した南向きに六畳の日本間を作つて、友達が来た時、寝ころんで気楽

に話をしたり、或ひは将棋をさしたりできる部屋を作つてくれと云ふと、大工は喜んでそれを忽ち本式の茶席に作つて了つた。結局、私の考へた用途にはならなかったが、家内と娘三人、興福寺の坊さんを師匠にその部屋で茶の稽古をする事になった。

随筆「茶について」より